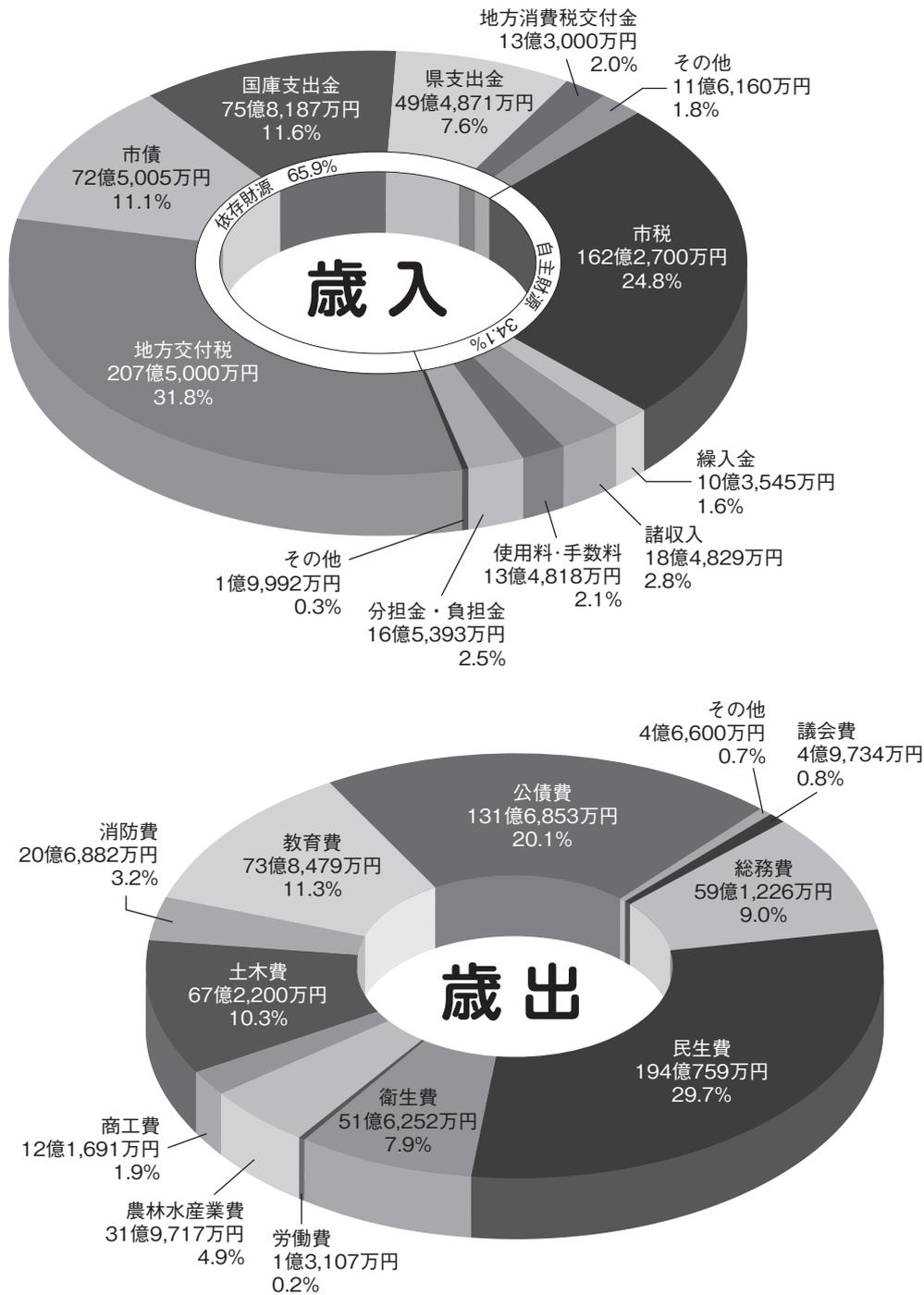


一般会計

歳入・歳出構成内訳

平成23年度(2011)一般会計当初予算

653億3,500万円



当初予算編成の 基本的な考え方

3月定例市議会で、平成23年度の当初予算が決まり、一般会計は平成22年度当初予算と比べ、5.3%増の653億3,500万円、特別会計総額は2.9%増の395億9,811万円となりました。

地方財政見通し全体としては地方税収入の増収が見込まれているものの、本市における税収は長引く経済不況の影響もあり増収が見込めないことから、平成22年度と同様に財政調整基金の繰入れを必要とする予算編成となりました。本市においては、昨年10月に実施した「ゼロベース評価委員会(事業仕分け)」での厳しいご意見を教訓とし、現在合併算定替としての特別加

企業会計

水道事業会計		
収益的収支	収入	23億2,119万円
	支出	22億7,746万円
資本的収支	収入	6億6,350万円
	支出	20億8,050万円

病院事業会計		
収益的収支	収入	27億8,260万円
	支出	35億8,822万円
資本的収支	収入	12億3,104万円
	支出	12億2,091万円

※収益的収支は1年間の営業収支。資本的収支は、設備投資などに伴う収支。資本的収支における収入不足額は、損益勘定内部留保資金等(積立金など)で補てんします。

予算額は千円単位で四捨五入

特別会計 396億円

国民健康保険事業	143億6,200万円
国保橋波診療所事業	1,060万円
診療所事業	9,360万円
後期高齢者医療事業	27億9,700万円
介護保険事業	123億2,900万円
簡易水道事業	20億5,700万円
下水道事業	56億900万円
農業・漁業集落排水事業	19億2,700万円
浄化槽設置事業	1億6,960万円
風力発電事業	3,190万円
ご縁ネット事業	8,600万円
企業用地造成事業	1,040万円
駐車場事業	9,330万円
住宅新築資金等貸付事業	253万円
高野令一育英奨学事業	288万円
廃棄物発電事業	1,630万円
合計	395億9,811万円

基金現在高見込(普通会計)

単位：百万円

区分	平成20年度 決算額	平成21年度末 決算額	平成22年度末 見込額	平成23年度末 見込額
財政調整基金・減債基金	2,936	3,169	3,497	2,822
その他基金	5,431	4,967	5,499	5,212
合計	8,367	8,136	8,996	8,034

地方債現在高見込(普通会計)

単位：百万円

区分	平成20年度 決算額	平成21年度末 決算額	平成22年度末 見込額	平成23年度末 見込額
地方債発行額	12,797	8,309	9,000	8,451
地方債元金償還額	10,711	10,784	11,118	11,112
年度末現在高	133,507	131,032	128,914	126,253
内訳	臨時財政対策債	13,558	15,178	17,909
	建設事業等	119,949	115,854	111,005

※〔参考〕全会計年度末現在高 209,473 208,315 207,614 205,858

算を受けている地方交付税が平成27年度以降減額される財政見通しのもと「出雲市財政スリム化宣言」を行い、「財政の健全化」へ向けてゼロベースで見直す取組みを継続していきます。

そのため、平成23年度の当初予算編成においても、持続可能な財政運営の堅持を基本としたところです。

その上で、市民の目線に立ち、開かれた市政の実現をめざす中で、市民の安心と経済雇用環境の活性化に加え、観光振興における新たな取り組みなど、魅力あるまちづくりにも配慮した予算の編成を行いました。また、本年10月1日には斐川町との合併により新しい出雲市が誕生し、歴史文化自然が豊富で産業集積力の高い都市となることから、円滑な合併を迎えられるよう合併準備経費についても所要額を計上しました。